

日本野球界の未来のために 保留制度改革案2022

2022年7月26日



プロ野球選手会
～野球界の未来のために活動

選手会ビジョン 2019

選手会ビジョン2019

～魅力ある野球界のための好循環を目指して～

日本プロ野球選手会



1. 野球普及・育成環境の整備

～子供たちに野球を選んでもらうために～

2. 魅力あるプロ野球の構築

～魅力的なNPBであるために～

3. 引退後の充実

～次の世代に貢献するために～

魅力ある野球界のために

1. 年代、実力に応じた出場機会、活躍の場作り

～ FA取得期間や補償制度で特定の選手にしかメリットがない

2. 選手の夢、ファンの夢が実現されない

～ 若くメジャーリーグに挑戦できない選手がいる

フリー エージェント 制度

- 国内海外6シーズン統一
- 補償制度の撤廃
- 登録日数カウント方法の追加

現状のF A制度の課題

❖ 特定の選手のみにメリット

- 選手マーケットに出る若い選手を増やし、年俸の一極集中を防止
- 球団経営にとってもデメリット

❖ 特定の選手以外にほぼ無関係な制度

- ほとんどの選手はF Aを取得すらできず
(平均取得年数10.6年>平均寿命年数9.83年)、また行使できる選手はほとんどいない(行使率はたったの7.0%)
- みんなのF A

❖ 人的補償が若手のチャンスに繋がってない

❖ 球団がコントロールできるカウント方法

- 選手のF Aカウント阻止のための登録抹消が可能な状況

FA取得に関する試算

❖ FA取得までの年数と年齢（2012年～2021年の10年間平均）

- 国内FA取得平均年数：10.6年 海外FA取得平均年数：12.3年
- 国内FA取得平均年齢：31.5歳 海外FA取得平均年数：32.6歳

⇒ **FAが6シーズンだったとすると 平均年数：9.0年 平均年齢：29.8歳**

❖ 同じ年に入団した選手のうちFA取得した人数

- 現行制度に変わった2008年～2014年入団まで
平均入団人数89.7名のうち、FA取得したのは平均12.7名
- FA取得率：14.2%

❖ FA取得後に宣言した選手（2012年～2021年の10年間平均）

- 平均有資格者88.6名のうち、FA宣言したのは平均6.2名
- FA宣言（行使）率：7.0%

ポスティング 制度

- 一定条件達成によるポスティング実施

* 球団とのバランスある制度作り

海外で若く活躍する選手の好影響

ここ30年野球界に影響を与えた選手ら

～野茂英雄、イチロー、松井秀喜、松坂大輔、ダルビッシュ有、田中将大、大谷翔平

⇒ 将来の野球人材、アマチュア界の活性化

若くして海外で活躍する他のプロスポーツの選手

～サッカー（南野拓実ほか）、ゴルフ（松山英樹）、テニス（錦織圭）、ボクシング（井上尚弥）、バスケットボール（八村塁）など

その他 戦力外制度

- 育成契約打診の公表、メディアへの情報提供禁止

* 選手のチャンス制限の防止

魅力ある野球界のための
好循環を目指して。

日本プロ野球選手会

